

校訓

拓き 輝き 高め合う 干潟っ子

教育目標

『考える頭 元気な心 強い体』

＜めざす学校の姿＞

- ① 安全な環境で、安心して生活できる学校
- ② 明るいあいさつと笑顔や感動のあふれる学校
- ③ 児童一人一人のよさを認めながら、目標実現に向け活動する学校
- ④ 家庭、地域から信頼される開かれた学校

＜めざす児童の姿＞

【知】進んで考え学び、学んだことを生活に生かそうとする干潟っ子

【徳】自分を大切にし、思いやりをもって人と関われる干潟っ子

【体】粘り強くやり抜く意志を持ち、健康でたくましい干潟っ子

＜めざす教職員の姿＞

- ① 誠実で教育への情熱と使命感を持ち、児童や保護者、同僚から信頼される教職員
- ② 愛情豊かで、児童に寄り添い、個を認め伸ばす教職員
- ③ 研鑽と修養を積み、チームで互いに高め合う教職員
- ④ 働き方改革の視点を持ち、柔軟に業務改善に努める教職員

笑顔と感動

チーム干潟小

＜学校経営の基本方針＞

- ① 学習指導の充実
- ② 安全で安心な学校づくり
- ③ 楽しく充実した学校生活の実現
- ④ 機動力ある働きやすい組織づくり
- ⑤ 教職員の資質や専門性の向上
- ⑥ 開かれた学校づくり

めざす姿を実現するために

【知】主体的な学び

- ① 『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指した授業改善
 - ・学習形態や発問、評価等の工夫
 - ・ICT機器を活用した授業づくり
 - ・ユニバーサルデザインの推進と、一人一人のニーズに対応した指導
 - ・読書活動や調べ学習等の活動の充実
- ② 教育課程等の工夫・改善
 - ・めあてをもった読書活動の奨励
 - ・少人数、TTによる個に応じたきめ細かな指導
 - ・プログラミング教育の推進
- ③ 家庭学習習慣の確立
 - ・主体的に取り組める家庭学習の推進（発達段階に応じた時間設定）
 - 1年 20分 2年 30分 3年 40分
 - 4年 50分 5年 60分 6年 70分
 - ・1人1台端末の有効活用

【徳】豊かな心・社会性

- ① 個のよさを見出す生徒指導の推進
 - ・共に認め合う学級経営・学年経営（学級が安心できる居場所）
 - ・互いに認め合える人間関係づくり
 - ・いじめ防止、早期発見・早期対応
 - ・教育相談体制の充実（7カート活用）
 - ・干潟スタンダードの定着
 - ・情報モラル教育の推進
- ② 特別支援教育の充実
 - ・個に応じた指導支援の充実（個別の教育支援計画・個別の指導計画の利活用）
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした全校での支援体制と関係機関との連携
 - ・教育的ニーズに応じた一貫性のある計画的、継続的な支援と記録の蓄積
- ③ 道徳教育・人権教育の充実
 - ・「考え、議論する道徳」を意識した指導、家庭・地域との連携（授業公開）
 - ・人権教育を意識した教育活動

【体】やり抜く意志・体力

- ① 組織的な体力の増進
 - ・実態に応じた教科体育の指導の工夫
 - ・体育の日常化による体力増強（休み時間の外遊び、体育的行事等の充実）
 - ・「もう1歩・もう1回」頑張れる体と心づくり
 - ② 自ら身を守る健康教育や安全教育の推進
 - ・保健や食育により健康は自分で作り自分で守る意識の育成
 - ・避難訓練や学級活動等により正しい判断で命を大切する行動がとれる危機回避能力の育成
- ＜研究教科＞ 学校図書館教育
 ＜研究主題＞
 主体的に読み、考え、表現する児童の育成
 ～図書館の効果的な活用を通して～

- ① PTA・近隣の学校や地域の関係団体との協働（学校運営協議会、保幼・小中高、青少年育成会議1000カ所ミニ集会、学校支援ボランティアとの連携等）
- ② 教育情報の発信と成果の共有（学校評価、公開、たより、HP、メール等）
- ③ 児童が「ふるさと旭・干潟地域」に学ぶ機会の確保と地域交流（干潟地区自主防災会活動、絆スポーツ大会等）

＜願う家庭の姿＞

- ① 家族の時間を大切にし、学校の話題を笑顔で語り合う家庭
- ② 家族の一員としてお互いを尊重し、積極的に協同する家庭
- ③ 子どもを信頼し、自立への成長を見守れる家庭

地域に学び、地域と共に歩む干潟小学校